

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業(実施状況・効果)

【通常分、原油価格・物価高騰分、重点支援分】

(単位：円)

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	予算額	総事業費 (実績額)	臨時交付金 (コロナ)	国県支出金	一般財源		
1	南公民館大ホール感染症対応改修事業	①「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開に向け、南公民館大ホールの収容者数を減らすことで座席の間隔を広げ、抗菌・抗ウイルス加工された座席に更新することで感染防止対策を行ったうえでイベント及び行事等を開催する。 ②工事請負費 49,500千円 ③600席×@82.5千円×1.1=49,500千円 ④南公民館	49,500,000	49,467,000	49,467,000		0	座席幅の広い観覧席に交換し、同時に抗菌コートを行い、ゆったりとした空間で安心して観覧していただけるよう改修工事を実施	感染リスクの低い仕様にする事で、観覧者の感染症拡大防止及びウィズコロナ下での社会経済活動の再開に寄与した。
2	王寺駅周辺にぎわい創出事業	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い落ち込んだ地域経済の回復の一助となるよう、西和地域の玄関口である久度大橋及び王寺駅南駅前広場にイルミネーションの設置により、おもてなしの空間を形成し、駅周辺の活性化を図る。また、住民及び来訪者にとってのやすらぎ空間としての効果を創出する。 ②③委託料 8,300千円 ④久度大橋及び王寺駅南駅前広場	8,300,000	8,370,000	8,300,000		70,000	地域経済の回復の一助となるよう、西和地域の玄関口である久度大橋及び王寺駅南駅前広場にイルミネーションの設置	「新しい生活様式」等感染症対策の観点を盛り込んで感染リスクの低い屋外施設をブラッシュアップすることで、Withコロナ時代に選ばれる地域としての魅力向上及び魅力の訴求が図られた。
3	GIGAスクール構想への支援事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障するとともに、国が進めるGIGAスクール構想の実現のため、児童生徒や教員が学校・自宅で使うICT環境を整備する。 ②役務費 629千円、委託料 4,495千円、使用料及び賃借料 3,465千円、備品購入費 8,618千円 ③家庭学習用通信機器の通信料 @25,132×25台=629千円 GIGAスクサポの配置 @460,801×11月=5,069千円-補対574千円=4,495千円  GIGAスクール端末アプリ使用料 @1,650×2,100台=3,465千円 GIGAスクール用端末 @71,500×45台=3,218千円、@189,000×20台=3,780千円、@54,000×30台=1,620千円 ④王寺北、南義務教育学校及び児童、生徒	17,207,000	16,833,532	16,833,000		532	授業及び家庭学習で活用する学習用端末の購入、校内通信ネットワークにおいて、教員が児童生徒の学籍情報や身体状況等を記録する奈良県域統合型校務支援システムを使用するための校務用端末の購入  ICT支援員の配置	GIGAスクール構想に基づき、1人1台PCを使用できる環境を整えたことにより授業で安定したネットワークの利用が可能になり、円滑な授業展開に役立てることができた。
4	電子図書館運営事業	①コロナ禍における「新しい生活様式」に対応するため、来館することなくパソコン・スマートフォン・タブレット端末で電子図書を24時間いつでも読める電子図書館、図書環境の充実に向けた環境整備を行う。 ②③システム使用料 660千円、電子図書購入費 2,600千円 ④町立図書館	3,260,000	3,259,967	3,259,000		967	来館することなく自宅等で読書を楽しむことが出来る電子図書館の運営(利用状況) 登録者数 270人 貸出冊数 4,488冊	図書館へ訪問することなく貸出できることによって、感染症拡大防止につながった。
5	公共施設の感染症対策事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、水栓ハンドルの接触による感染を防止するため、公共施設のトイレ手洗器を非接触の自動水栓に交換する。 ②工事請負費 3,900千円 ③④自動水栓 1箇所 50,000円 文化福祉センター 23箇所 1,150千円、やわらぎ会館 29箇所 1,450千円、王寺アリーナ 17箇所 850千円、健民運動場 9箇所 450千円	3,900,000	3,839,466	3,839,000		466	水栓ハンドルの接触による感染を防止するため、公共施設のトイレ手洗器を非接触の自動水栓に交換 【施行箇所】文化福祉センター 23箇所、やわらぎ会館 28箇所、王寺アリーナ 17箇所、健民運動場 9箇所	非接触の自動水栓に交換することで、感染症拡大防止につながった。

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 （実績額）	臨時交付金 （コロナ）	国県支出金	一般財源		
6	キャッシュレス決済導入事業	①各種証明書の手数料及び公共施設利用料の支払いにキャッシュレス決済(クレジットカード、QRコード決済、電子マネー)ができる機器を導入し、新型コロナウイルス感染症対策並びに利便性の向上をはかる。 ②役務費 114千円、備品購入費 766千円 ③キャッシュレス決済用端末 766千円、決済手数料 114千円 ④住民課、税務課、やわらぎ会館、いずみスクエア、南公民館、地域交流センター、王寺アリーナ 計7か所	880,000	726,685	726,000		685	令和4年12月より7か所でタブレット・QRによるキャッシュレス決済を実施（7台購入） R4.12～R5.3月末キャッシュレス決済実績 件数：175件（0.3%） 金額：149,900（0.5%）	接触を防ぐことで感染症拡大防止につなげるとともに、窓口支払時の利便性の向上に寄与した。
7	町公式サイトリニューアル事業	①新型コロナウイルス感染症の情報をまとめた特設サイトを構築するほか、町公式サイトデザイン・レイアウトを再構築し、よりわかりやすく情報にたどり着けるよう整備する。 ②委託料 3,520千円 ③サイト改修 2,750千円、特設サイト 330千円、手続きナビ導入 440千円 ④王寺町公式サイト	3,520,000	3,520,000	3,520,000		0	町公式サイトデザイン・レイアウトをよりわかりやすく情報にたどり着けるようリニューアルするほか、スマートフォンでの閲覧する際の最適化を行った	住民等が新型コロナウイルス感染症に関する必要な情報を収集しやすくなった
8	LINE公式アカウントの機能拡充事業	①町公式LINEにおいて、住民に向けたコロナ対策の情報発信精度の向上を図るため、ターゲット別のプッシュ通知を可能にする等、機能を拡充する。 ②委託料 1,364千円 ③初期構築費用 440千円、システム利用料1年 924千円 ④王寺町公式LINE	1,364,000	1,243,000	1,243,000		0	王寺町の公式LINEを通じて子育てやごみ回収情報などを、家族構成や居住地域等に応じ、ターゲットを絞った効果的な情報発信を実施 機能拡充初期構築委託料473千円、配信システム利用料770千円 登録者数：9,441人 発信回数：50回	住民等が新型コロナウイルス感染症に関する必要な情報を収集しやすくなった
9	水道料金（基本料金）減免事業（通常分）	①新型コロナウイルスの影響に加え、原油価格・物価高騰により経済的に厳しい環境にある中、生活支援策として、住民や事業者に対し、水道料金の基本料金4ヶ月分を減免する。 ②王寺町水道事業会計への繰出金 72,000千円（うち、臨時交付金17,681千円充当） ③基本使用料 17,250千円/月×4ヶ月＝69,000千円 事務費（システム改修費等） 3,000千円 ④王寺町内における水道利用者（公共施設を除く）	30,000,000	9,679,950	8,274,000		1,405,950	経済的な支援策として水道料金の基本料金4ヶ月（7月～10月）を減免	新型コロナウイルスの影響を受けている住民、事業者の負担を軽減することができた。
10	水道料金（基本料金）減免事業（物価高騰分）	①新型コロナウイルスの影響に加え、原油価格・物価高騰により経済的に厳しい環境にある中、生活支援策として、住民や事業者に対し、水道料金の基本料金4ヶ月分を減免する。 ②王寺町水道事業会計への繰出金 72,000千円（うち、臨時交付金19,675千円充当） ③基本使用料 17,250千円/月×4ヶ月＝69,000千円 事務費（システム改修費等） 3,000千円 ④王寺町内における水道利用者（公共施設を除く）	42,000,000	28,360,000	28,360,000		0		
11	子育て世帯への生活支援給付金事業	①新型コロナウイルスの影響に加え、原油価格・物価高騰により経済的に厳しい環境にある中、子育て世帯の負担軽減を図るため、児童一人あたり一律10千円を支給する。 ②負担金、補助金及び交付金 38,000千円、需用費 193千円、役務費 921千円、委託料 1,720千円、職員手当 166千円 ③給付金 3,500人×10千円＝35,000千円（対象者）0～15歳 3,270人、新生児 230人 事務費（システム改修費等） 3,000千円 ④王寺町内在住の0～15歳及び新生児	38,000,000	36,584,890	35,564,000		1,020,890	コロナ禍において、食費等の物価高騰等に直面する子育て世帯に対し、町独自の給付金として、15歳までの児童一人あたり一律1万円を支給 合計3,627人	コロナ禍の影響を受けた子育て世帯の負担を軽減することができた。

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 (実績額)	臨時交付金 (コロナ)	国県支出金	一般財源		
12	給食食材費 高騰分対応 事業	①新型コロナウイルスの影響に加え、原油価格・物価高騰により経済的に厳しい環境にある中、学校給食費への影響を抑制するため、高騰する食材費相当（教職員は除く）に充当する。 ②需用費 5,000千円 ③賄材料費 5,000千円 ④町立幼稚園、小学校、中学校に通う子育て世帯	5,000,000	118,039,137	1,000,000		117,039,137	一般財源のうち、給食事業収入112,861,740円を差し引いた一般財源は、4,177,397円 学校給食費への影響を抑制するため、高騰する食材費相当（教職員は除く）に充当	保護者が食材高騰分を負担することなく（給食費の値上げ率0%）、給食の質を維持することができた。
13	公立学校情報機器整備費補助金	①新型コロナウイルスの影響による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障するとともに、国が進めるGIGAスクール構想の実現のためのICT環境を整備する。 ②委託料 574千円 ③GIGAスクールサポーターの配置 @460,801×11月=5,069千円-4,495千円(No.3事業費)=574千円(補対事業費) ④王寺北、南義務教育学校及び児童、生徒	574,000	574,000	287,000	287,000	0	教職員がICT端末を効果的に活用した授業を行うための支援や教職員のICT活用指導力及び情報セキュリティ、情報モラル意識の向上を図るため、ICT支援員を配置	分散授業や休校時の自宅学習に対応できるようになり、安定した学習環境を提供することができた
14	雪丸振興券事業 (重点交付金分)	①新型コロナウイルスの影響に加え、電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けた住民に期間を限定して町内の店舗等で利用できる「雪丸振興券」を交付することにより、生活支援及び消費喚起による地域経済活性化を図る。 ②委託料 24,500千円、負担金、補助金及び交付金 60,500千円 (うち、臨時交付金63,234千円(重点交付金分)充当) ③補助金 2,500円×24,200人≒60,500千円、委託料 24,500千円(以下内訳) (事務局費・営業管理 4,888千円、商品券等の準備 4,439千円、商品券配送・換金 12,947千円、消費税 2,227千円) ④住民全員	65,000,000	64,384,000	64,384,000	0	0	住民に町内で使える「雪丸振興券(1人あたり2,500円分)」を、全住民を対象に郵送にて配布 利用店舗数156店舗 利用期間 R4.12/10~R5.2/15 配布冊数 23,839冊(1冊@500×5枚) 利用率 97.0%	事業者の売上を確保することで事業継続を図るとともに、住民の負担を軽減することができた。
15	雪丸振興券事業 (物価高騰分)	①新型コロナウイルスの影響に加え、電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けた住民に期間を限定して町内の店舗等で利用できる「雪丸振興券」を交付することにより、生活支援及び消費喚起による地域経済活性化を図る。 ②委託料 24,500千円、負担金、補助金及び交付金 60,500千円 (うち、臨時交付金(物価高騰分)3,000千円充当) ③補助金 2,500円×24,200人≒60,500千円、委託料 24,500千円(以下内訳) (事務局費・営業管理 4,888千円、商品券等の準備 4,439千円、商品券配送・換金 12,947千円、消費税 2,227千円) ④住民全員	5,000,000	0	0	0	0		
16	雪丸振興券事業 (通常分)	①新型コロナウイルスの影響に加え、電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けた住民に期間を限定して町内の店舗等で利用できる「雪丸振興券」を交付することにより、生活支援及び消費喚起による地域経済活性化を図る。 ②委託料 24,500千円、負担金、補助金及び交付金 60,500千円 (うち、臨時交付金(通常分)8,000千円充当) ③補助金 2,500円×24,200人≒60,500千円、委託料 24,500千円(以下内訳) (事務局費・営業管理 4,888千円、商品券等の準備 4,439千円、商品券配送・換金 12,947千円、消費税 2,227千円) ④住民全員	15,000,000	10,301,759	10,301,000	0	759		

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 (実績額)	臨時交付金 (コロナ)	国県支出金	一般財源		
17	デジタル田園都市国家構想推進交付金	①新型コロナウイルスの影響により、テレワークを始めとした多様な働き方に対応するため、民間事業者によるサテライトオフィスやテレワーク施設整備に係る費用を支援する。 ②③負担金、補助金及び交付金 42,000千円 ④施設整備事業者	42,000,000	42,000,000	21,000,000	21,000,000	0	テレワーク施設を整備・運営する事業者をプロポーザル公募し、決定した民間事業者に対し、交付金を活用して施設改修費用等の一部を補助 R4.12.1 テレワーク施設「0-terrace(オーテラス)」が開設	withコロナに向けた働き方の推進と感染症拡大の防止につながった。
18	テレワーク導入事業	①現在、LG系PCについては1人1台整備しているが、IN系PCについては、業者との打ち合わせやメール対応、web会議等、使用目的が多岐に渡るにも関わらず、1人1台整備していない。そのため、1台の画面を複数人で使用し、時には肩を寄せ合いながら画面を見ることもある。コロナ禍における感染症対策の観点から、1人1台PCを整備することにより、感染拡大防止を図ることができ、また、濃厚接触等により在宅勤務を余儀なくされた場合にも、職場と同様の環境を整備することで住民対応を始めとした業務に支障を出さないため、LG系、IN系を同時に見ることができる環境を整備する。 ②③委託料 10,000千円 ④公用PC全台	10,000,000	7,866,210	7,866,000	0	210	仮想ブラウザを導入し、濃厚接触等により自宅待機となった場合でも、業務を継続できるように在宅勤務の環境を整備した	新型コロナウイルス感染症によって住民サービスの質を落とさず提供できた。
19	タクシー事業者への補助	①新型コロナウイルスの影響により利用者減に加え、原油価格高騰の影響を受けているタクシー事業者への支援として1台あたり5万円を補助する。 ②負担金、補助金及び交付金 2,500千円 ③1台当たり50千円×50台=2,500千円 ④王寺町内タクシー事業者	2,500,000	1,250,000	1,250,000	0	0	新型コロナウイルスの影響による利用者減に加え、原油価格高騰の影響を受けているタクシー事業者への支援として1台あたり5万円(25台)を補助	営業継続により、地域の公共交通の維持に寄与した。
合計			343,005,000	406,299,596	265,473,000	21,287,000	119,539,596		